



日本人を考えるシリーズI ～ 何度でも立ち上がる日本人、凄い！

日本は平和で四季があって暮らしやすい国ですが、その代償といわんばかりに災害が多い国でもあり、特に最近では台風や洪水などの被害が頻繁にあるような印象です。このように大きな被害が出ると世界にその報道がなされて、世界の人々が一様に驚くというのは、日本人被災者の行動だそうです。被災を現実として静かに受け止め、パニックになったり嘆いたりして取り乱さない、冷静に周りとの協調して秩序正しく行動する。誰かが指示しないのに列に静かに並んで待ち、列に割り込んだりはしない。泣き叫んだり取り乱したり、誰かを口うるさく責め立てるようなこともない。徒党を組んで略奪行為に走ったり、暴徒化するようなことは一切ない。こういった日本人の落ち着きやマナーのよさは、一体どこから来たのでしょうか？



- ① 全国を2000メートル級の脊梁山脈が縦断して、日本海側と太平洋側に二分している。面積の7割が山岳地帯。河川は短く急勾配で、一気に下流域に水が押し寄せる。
- ② 大都市はすべて河口の軟弱な地盤の上にある。国土面積は、世界の地表の0.25%しかないのに、M4以上の地震の10%、M6以上の地震の20%が日本に集中している。そもそも火山帯・地震帯の上に国土が存在している。
- ③ 地球平均の2倍以上の降雨量だが、梅雨と台風時期に集中しており、水害が多い。
- ④ 台風の通り道に沿うかのよう日本列島が展開しており、強風や水害につながっている。

つまりヨーロッパなどに比して、日本は耐震や水害対策をせねばならないハンディを背負っているわけです。そして先人たちは大変な苦勞と投資を積み重ねてここまで国を發展させてきました。こうした災害が歴史を動かしてきたのです。繰り返される災害の中で、日本人の中には『自然災害史観』とも言うべき日本人独特の精神性が培われていったといいます。歴史的に日本人は紛争で亡くなった人よりも、災害で亡くなった人の方が多い。中国やヨーロッパでは、圧倒的に災害よりも紛争で亡くなっています。『人為』で命を落とした人が多くであると、相手を恨んだり、なぜ負けたのかを考え、次に勝つにはどうすべきかを論理的思考で考えます。

一方、災害の前には、誰かを恨むでもなく抗議するわけにも行かず、防ぐ方法も皆無だった。日本人とは、災害という理不尽な『天為』で命を落としてきた民なのです。抗いようもない圧倒的な自然の前で、ただただ傍観するしかないパワーに翻弄されてきた日本人は、『ひたすらにその死を受け入れる』民でしか有り様がなかったのです。

グローバル化が進む世界で、『人為史観』『紛争史観』しかない国々と日本人は付き合っただけでゆかねばならなくなりました。契約の仕方、物事の主張の仕方をとってもグローバルスタンダードとは違う日本人。遅れている人たちという見方もありましたが、日本人自体が立ち位置を見失いかけてきました。でも、そうかな？理不尽な悲惨な目に合ったのは、今の自分たちだけではない。先祖たちも皆これらを乗り越えてきたことです。何度もこの理不尽さに直面し、何度も何度も立ち上がって乗り越えてきました。置かれた状況で最善を尽くそうという国民性、日本人の災害に対する行動は、正に自然災害の歴史によって遺伝子に組み込まれてきたかのように受け継がれていっています。日本人は自然災害に育てられたと言ってもよいでしょう。

外国人目線のエピソード

仏駐日大使クローデル・・・関東大震災を体験したが、このとき帝国海軍士官とパーティーで同席している間に、その士官の家族が被災して亡くなった報が入った。彼はそれでもきちんと社交を続け、座を辞するとき『頓珍漢な返事をしてすみませんでした。少し気が立っていたものですから・・・』非常時に日本人が示す忍耐力は地震を体験してきた国民であればこそその尊ぶべき特性だとした。

明治10年代に滞在した米国人エドワード・モース・・・大火の見物に行ったときに、この一夜を通じて、焦立った身振りも意地悪い言葉も一つも聞かなかった。悲嘆や懸念の表情は見当たらなかった。

デンマーク人エドアルト・スエンソン・・・慶応年の横浜の大火の直後を目の当たりにして、日本人の性格の中で異彩を放つのが、不幸や廃墟を前にして発揮される勇気と沈着であると記した。

米人クララ・ホイットニーは明治9年の東京の大火事で1万戸の火事跡をみて、この人たちが快活なのを見ると救われる思いだった。笑ったり、おしゃべりしたり、冗談を言ったり、食べたり飲んだり、お互いに助け合ったりして一つの大きな家族のようだ。涙に暮れているものなど一人も見なかった。驚嘆したことには、36時間後にはあちこちに新しい建築物の枠組みが建てられている。その進行の早さには驚くべきものだった。千個以上の家屋がまるで地面から生え出る植物のように一斉に立ち上がってゆく。涙に暮れているような時間を無駄にはしなかった。

大震災の被災者の方々と、ほとんど代わりもない日本人の姿は何百年も前から引き継がれたものだったようです。どのような状況になっても、すぐに立ち上がれる日本人！ 私たちはこうした民なのです。



【平成を揺るがした興業の数々～日本発信のオタク文化】

令和の元号になり、3ヶ月以上経ちました。この7月はジャニーズに芸人、そしてアニメとそれぞれ違う分野で平成を盛り上げたと言える三大巨頭が大きく揺れ動いた月でした。この3つに共通して言えるのは、「ファン」「追っかけ」、「オタク」という消費者レベルのスポンサーが欠かせないという側面があることです。

中でも平成において、大きな発展を遂げたのが「アニメ産業」ではないでしょうか。原作アニメだけでなく、キャラクターグッズにコラボカフェ、キャラクターの声優の追っかけや、原作アニメの舞台公演(2.5次元)、聖地巡礼とお金の落としどころだらけの底なし沼です。それでも推しアニメを応援したい！というオタクたちが今日のアニメ業界を支えています。



今ではジブリ作品をはじめ、多くのアニメが海外で高い評価を得ており、アニメがきっかけという訪日観光客や留学生も増えています。アニメ産業市場は2017年に8年連続売上増、5年連続最高値更新も達成し、初めて2兆円の大台を突破した年となりました。その最大の要因となっているのは2015年から急激に数字を伸ばした海外市場です。今や「オタク」は「OTAKU」として世界に羽ばたき、日本が誇る文化になっていると言えます。実際、国際オタクイベント協会という団体が存在し、なんと世界47カ国合計128の「OTAKU」イベントを取りまとめており、IOEA加盟イベントには年間合計延べ350万人が参加しているといえます。(IOEA非加盟イベントを含めると、「OTAKU」人口は2000万人以上!!)

先日、政府では日本独自の文化の海外への発信を強化するため、「クールジャパン戦略」を見直す新たな案が取りまとめられたそうです。世界の「OTAKU」は、日本を愛する「日本ファン」。「OTAKU」の持つ可能性や世界への訴求力をクールジャパン戦略に活かさない手はないですね。

健康法師の独り言 パート 95

豆乳は抜群らしい……。

子供の頃は母に牛乳を毎日飲むように躾けられてきましたが、兄弟たちは皆大きく育つという事もなく、今思うと何だったのだろうか？と思われます。しかし、60歳にもなった今は、牛乳よりも豆乳です！大豆ですと体に良いことは誰も承知ですが、今一度確認しておきましょう。

効能その1・・・美容・老化防止効果

ビタミンB群やサポニンで新陳代謝が促進され、しみ・シワ・にきび改善に効く。

効能その2・・・血行改善効果
サポニンの抗酸化力が血行を良くして老廃物を流してきて老化を防止してくれる。

効能その3・・・グアイエツト効果
ビタミンEが血行を良くして老廃物を流し、栄養を体の隅々までかせる。

効能その4・・・便秘解消効果
大豆タンパクや大豆ペプチドが体脂肪の燃焼を促進し、蓄積を抑えるし、食欲を抑える効果があって、グアイエツトに効く！

効能その5・・・バストアップ効果
オリゴ糖が、腸内環境を整えるビフィズス菌や善玉菌を増やしてくれて、快便！

女性ホルモンの一種・エストロゲンが多く、乳腺が発達しバストアップとなり、インフラボンも同様に女性ホルモンを促進する。これ、相当にあるようですよ。よって生理中の女性はホルモンバランスを崩す恐れがあるので、多用してはいけません。

何事も摂り過ぎは禁物ですが、長く続けることも非常に重要です。さらに摂取するタイミングや気をつける点も考えた方が効率は格段に違ってくるというもの……。

①朝起きてすぐ ↓ 栄養の吸収率が高く有効

②食事前・間食に ↓ 満腹中枢を刺激するので、食事30分前はよいですね。たくさん食べられないくらい良いのです。

③寝る前 ↓ 豆乳は褐色脂肪が体内エネルギーを熱に変え、体温維持の役割をします。白色脂肪は減るので、太ることは無いのです。成長ホルモンが活発になるのが、22時～2時だから、その1時間前に飲むと美容効果は出易いでしょう。

④エストロゲンの関係上、ホルモンバランスを崩す可能性があり、女性は生理中は避けるべき

⑤ホット豆乳の方が効果は得易い

では市販の製品をみて行きましょう。が、紙面の都合上、いきなり結論！お奨めなのが、キッコマンさんの特濃タイプ豆乳です。無調整は、飲みやすくするために成分を調整したり味を付けたりしています。無調整は大豆タンパクの量が多く、添加物や糖分・塩などが入っていない。

その意味では、特濃タイプは調整していますが、栄養強化バージョンとなっています。決して醤油で味付けはしていませんので、一度試してみましよう。

今や本当に種類が豊富になって、驚くばかりです。



編集後記

皆さま、今回の通信はいかがでしたか？今年の夏は大変暑いですね。皆さまお体には充分お気を付け下さい。水分補給ですよ！松村